

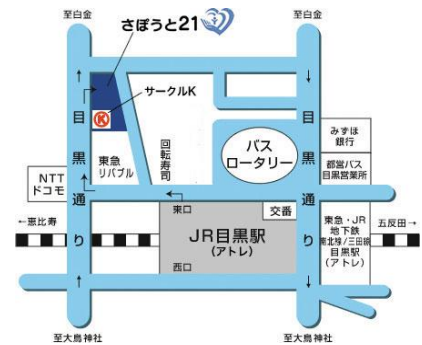
# 日本語教室ボランティア 振り返り&学び合い 講座

**【平成 24 年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業】**

ここ数年、「生活者としての外国人に対する日本語支援」の必要性が唱えられ、文化庁からは「生活者としての外国人に対する標準的なカリキュラム案」が発表されるなど、地域日本語教室の取り組みについては改めて大きな期待が寄せられています。日々地域日本語教室の「現場」で活動されている方々の中には、このような動きを受け、日本語教室での活動のあり方を改めて考えてみたいと感じの方も多いのではないのでしょうか。今回の講座のキーワードは「標準的なカリキュラム案」「対話」「相互理解」です。これらが自身の現場でどのように実現できるのか、講師、そして講座参加者の皆で、互いの活動の様子を伝えあい、振り返りながら、探っていきたいと思います。その学びが、参加者各自の活動の現場で共有され、生かされていく、そんな講座にしたいと考えています。

開催日	第 1 部		第 2 部
	テーマ	講師／アドバイザー	
1 9月2日 (日曜日)	「標準的なカリキュラム案」とは？ -その理念・意義・期待される具体的な活動展開を知る-	加藤早苗: インターカルト日本語学校 代表・文化庁文化審議会国語分科会日本語教育小委員会委員	※第1回～第3回の講座は、第2部を設けていません。日本語教室の活動のあり方を共に振り返り、話し合い、実際の活動へとつなげる方策を探ります。
2 9月23日 (日曜日)	この地域・この対象者・こんな活動 -日系人(豊田)・難民(東京)・母親(山形)対象の日本語支援の現場発信から考える-	北村祐人: 名古屋大学 とよた日本語学習支援システム システム・コーディネーター 内藤真知子: 公益社団法人 国際日本語普及協会 専務理事 横沢由実: NPO 法人 ヤマガタヤポニカ 代表理事	
3 10月21日 (日曜日)	この教材・こんな活動 -著者の描く活動展開から考える- 『日本語おしゃべりのたね』『外国人と対話しよう！にほんごボランティア手帖 すぐに使える活動ネタ集』をもとに	澤田幸子: 財団法人 海外産業人材育成協会 関西研修センター日本語講師 吉田聖子: 社団法人 日本語教育学会 人材育成プロジェクト・コーディネーター	
4 10月28日 (日曜日)	模擬授業・活動案作成から考える 日本語教室での日本語支援	西原鈴子: 日本語国際センター 所長・文化庁文化審議会国語分科会日本語教育小委員会主査・社会福祉法人さぼうと21評議員	
※各自が現場で実践してみる			
5 3月3日 (日曜日)	実践報告から考える 日本語教室での日本語支援	* 第5回の日程につきましては、変更の可能性がございます。ご承知おきください。	

- 日 時：第1回～第3回 13:00～17:30 / 第4回・第5回 13:00～16:30
- 場 所：さぼうと21事務所内（目黒駅より徒歩3分）
- 参加資格：地域日本語教室ボランティア  
地域日本語教室に関心のある日本語教師  
※全5回ともご参加ください。
- 受講料：無料 ■定員：30名（申し込み先着順に受付）
- 申込方法：申込書をメール・FAX・郵送のいずれかでご提出ください。
- お申込・お問い合わせ先：社会福祉法人さぼうと21  
〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 3階  
TEL 03-5449-1331 FAX 03-5449-1332 E-mail kensyu@support21.or.jp



## 5回の講座内容の詳細

		第1部 13:00～16:00	第2部 16:00～17:30
		文化庁・地域・教材作成者からの発信を受けて学ぶ	参加者自身の、地域日本語教室における活動を振り返り、話し合い、考える
1	9月2日 (日曜日)	文化庁「生活者としての外国人に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案」について理解を深めることを目的に、作成に直接かかわった小委員会委員の方から、その作成の経緯、理念、意義、期待される具体的な活動展開、評価などについて学ぶ。ロールプレイなどのタスク、シャドーイングなどのエクササイズについて実践を通じて知る	在住外国人の方々から、直接、地域日本語教室の日本語支援に対する意見や期待を聞く  参加者各自が日頃の日本語支援の活動を振り返り、全体で話し合い、共有を図りながら、これからの日本語支援活動を具体的に考えてみる
2	9月23日 (日曜日)	豊田、東京、山形の各地で、日系人、難民、母親対象の日本語支援にあたっているの方々から、日本語支援の現場でどのような取り組みが行われているかの報告を受け、共に考える	
3	10月21日 (日曜日)	地域日本語教室での活動を念頭に作成された日本語学習教材『日本語おしゃべりのたね』『外国人と対話しよう！にほんごボランティア手帖』『同 すぐに使える活動ネタ集』の著者を迎え、実際の日本語支援活動を体験し、共に考える	
<b>第1回から第3回の学びをもとに、実際の活動を考える 13:00～16:30</b>			
4	10月28日 (日曜日)	講座の運営委員が考えた授業に参加者全員が参加し、聴講し、意見交換を行う 第1回から第3回の学び、振り返り、話し合い、運営委員による授業等をもとに、各参加者が活動案を考える  【※11月-2月：各自が現場で実践してみる】	
5	3月3日 (日曜日)	学んだことを現場でどう活用できるか「やってみる」。「ひとつのタスク」でも「数回にわたる活動」でも、各自が何か新しい試みに取り組んでみましょう。 講座の運営委員が実際に行った教室授業(ビデオにて撮影)を視聴し、意見交換を行う 参加者の実践報告を全員で共有する 実践をもとに、改めて「標準的なカリキュラム案」「地域日本語教室での日本語支援」について考える	

**送付先** FAX番号:03-5449-1332 さぼうと21:〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2ミズホビル3階

日本語教室ボランティア 振り返り&学び合い 講座 参加申込書	
<small>ふりがな</small> 【お名前】	【お電話番号】 ※ご連絡が取りやすい番号をお願いいたします。
【ご住所】	
【携帯メールアドレス】 @	【Eメールアドレス】 @
【ご所属（ボランティア教室など）】 名称：	活動地域：
●ご質問等あれば、お書きください。	

※ ご記入いただいた情報は、無断で本研修以外の目的に使用することはありません。

※ 今後、当団体が主催する研修会のご案内やニュースレター等のご送付を希望されますか。( はい・いいえ )